

会員のみなさんへ 43年間の回想（NO3）

理事長 中川 忠宣

3月31日をもちまして、43年間の教員生活（社会教育行政を含む）を終えることとなりました。嬉しくもあり、寂しくもあるという心境です。

<学校週5日制の導入による受け皿づくりの時代>

昭和48年4月に、北九州市立浜町小学校に赴任して8年間、昭和56年度から大分県の小学校教員・教頭として10年間、合わせて16年間の小学校教員生活を送りました。併せて、大分県の社会教育行政で15年間過ごさせていただきました。その間に学んだことは「これからの教育は単独では不可能である。」ということでした。そのことを確信したのが平成4年9月から実施された月1回の週5日制でした。その後、毎週の5日制へは急速に進みました。しかし、その裏側にある「休日になった子どもの学びの保証」が曖昧のままでした。小学校低学年を対象とした「放課後児童クラブ」や、小学生を対象にした「放課後子ども教室」等が実施されましたが、学校週5日制の「受け皿」的存在だと感じました。もっと積極的な「休日になった子どもの学びの保証」が進められるべきでした。

<地域の教育力を動員して全ての子どもの体験知を！>

日本の諺に「可愛い子どもに旅をさせろ！」「他人の飯を食わせろ！」など、家族と離れたところで子どもを鍛えてもらおうと風土が日本にありました。学校もその「社会の重要な場所」でした。しかし、そうした風土も消えつつある現代社会において、「真の学び」をどこで、どうすればいいのかが問われています。こうした流れの中で平成17年度から導入された「コミュニティ・スクール」や、平成20年度から実施された「学校支援地域本部事業」は、一定の子どもを対象にしたものではなく、全ての子どもを対象とした「学校教育への地域の教育力を注ぐ」取組でした。しかし、学校教育と社会教育の壁は厚く、有効な「協働」は未だに定着していない現状があります。

<私にとって最高の喜びが「協育」ネットワーク>

平成21年度に、大分大学高等教育開発センターでの学びを通じた「人的ネットワーク」づくりのお手伝いが出来たことは、私にとって最高の財産（喜び）です。「子ども育てに関わる」という思いを持って各地で活動されている方はたくさんおられます。純粋に活動されながら喜びを感じつつ、悩みを抱えています。こうした方々と仲間になり、語り、お酒を飲み・・・

<これから・・・>

縁あって、4月1日から引き続いて大分大学の「COC+事業推進機構」に特任教授として残ることになりそうです。COC+事業とは「センター オブ コミュニティ」の略で、大学が地域創生のセンターとしての役割を果たす取組を進めるものです。まさに「地域と企業と行政と教員と学生と学びたい社会人を繋ぐ」事業です。人生の最後にこうした重要な役割を与えられることに感謝(?)したいと思っています。*COC+事業は私たちのNPOにもとても関係がありますので次号で紹介します。

<追記>

「協育」アドバイザー養成の基礎編・中級編・上級編の全てを修了された方に3月31日付けて大分大学長の「修了証」を交付することとしましたので後日お送りします。

『未来を担う子ども達のために出来ること』

(学校法人 瀧野学園) 幼保連携型認定こども園
富士見が丘幼稚園 理事長 瀧野 二三世

「協育」アドバイザーネットワークの第一期生として、長く浅くではありますが活動に関わらせていただいています。中でも、地域に点在している「点（活動）」が線で「つながる」ことで活性化していく様を垣間見ながら、「協育」ネットの一つひとつの活動に大きな意味あることを実感しつつ、この組織の底力を感じ、感動しています。さて、幼児期の子ども達に充実した教育・保育の提供をし続けることは、必ずや未来を担う子ども達のための大きな力となっていくものと信じ、教職員と共に、「質の高い教育・保育」の確実な提供を目指し、日々努力を重ねているところです。幼児期の子ども達には、特に「目に見えない環境」を提供することはとても大切だと考えています。

昨年9月、「環境を考える子どもを育てたい」という願いを込めて、全国で初めて「エコアクション21」を認証取得しました。このことで、園内では、今まで以上に「生活に密着した環境」の整備に取り組めるようになりました。また、所属している県産業教育振興会が開催する「産業教育フェア」では、専門高校生による「マグロの解体ショー」、石橋の不思議発見、各種工作体験など、親子での体験を通して、普通科に限らず、高校進学には多くの選択肢があることを知ることができています。その他にも県青少年赤十字の子ども会員として、命の教育やお散歩ゴミ拾いに取り組むことで地域への興味・関心なども育っているようです。



(集められたキャップ)



(分別されたゴミ)



(募金活動の様子)



(募金をお願いする園児たち)

その他にも、「ライオンズクラブ」と「大分盲導犬協会」との協働による募金活動の継続により、小さな心に「優しく温かい愛の花」がたくさん咲いています。また、他園にはない子ども同士の交流として、「県立聾学校幼稚園」の子ども達と貴重な交流をすることで、自然と障害の垣根が取り払われ、心と心がつながっていく姿に学ぶものがたくさんありました。ここでも「無言の教育」が展開されています。これからも「人が育つ環境」が保障される幼児教育・保育ができるように努めていきたいと思っております。・未来を担う子どもたちのために。

会員さんの活動紹介

赤 峯 友 子 さん (3期生)

大分市川添校区公民館主事

公民館を訪れた日、「一人暮らし老人を励ます会」が開かれていた。関係者はもとより川添小3年生も参加し総勢80名程の会場。メインは江崎浩司さんによるオーボエ・リコーダーの演奏会。氏は、昨年販売の世界の「音楽史部門」CDの頂点『レコードアカデミー賞』に輝いている。それだけに聴衆を魅了する素晴らしい音色だった。氏の指揮による3年生一同の「きらきら星」のリコーダー演奏もあり、贈り物の鉢植えの花々が日差しを浴びて輝き、心温まる光景だった。

前の週には、主催事業の恒例の「大野川ハゼ釣り大会」が実施されている。これは、夏の日「九六位キャンプ」に次いで子ども達の自然体験活動第2弾の事業で、正月の「凧作り・たこ揚げ大会」へと続く取り組みの一環。自治会・学校・PTA・漁協・消防団等の諸団体による万全の支援体制のもと、子ども達はセーフティジャケットを着、事前の講座で手作りした釣り竿を手に釣りを楽しんでいる。受講希望者が多い人気の教室は「薬草マイスター養成講座(年間12回)」。

講師は、毎回国東からやってくる薬学博士の矢野忠則氏。前年度の最終講座で薬膳料理を食する場を拝見したことがあったが、研修の成果が凝縮された手作り料理だった。



(リコーダー演奏)



(大野川ハゼ釣り大会)



(薬草マイスター講座風景)



(採取した食材で薬膳料理)

更には、児童の「公民館お助け隊」も珍しい活動。これは、前年度の7月赤峯さんが5年生の教室で「公民館の仕事」の話をしたことから始まる。頼みたい作業がある時公民館の外階段に幟旗を掲げると、児童が駆けつける。この10月は水曜日の放課後10数名が講座資料の製本作業をし、ついでに机・椅子の汚れ落としも手伝った。学校と隣接しているからできることかもしれないが、日頃からの緊密な連携こそがこのような活動を生み出していると思われる。以前に「川添地区健康フェスタ(自治会との共催)」に飛び入りで参加させてもらったことがある。この時は、他所にはない多種のプログラム展開に驚かされた。公民館が地域コミュニティーの拠点としての役割を見事に果たしている。地域住民の絆の強さ。「地域の教育力」の素晴らしさ。ニーズに応える公民館の人と人とを繋ぐ「コーディネート力」。これらは一朝一夕にできるものではないことを、公民館を訪れる度に感じてきた。赤峯さんは、今日まで14年間、歴代館長(5人)と共に多くの主催事業・共催事業等に関わり、今も多忙な日々が続いている。(園部秀靖)



(公民館お助け隊の製本作業)

成 田 敬 道 さん (1期生)

地域の子ども達の健やかな成長を願って

「協育」ネットの創立時に自治会役員の立場で、何らかの地域貢献をと思い立ち、中川教授の主導のもと種々勉強させていただきました。民生委員児童委員として2期目、立場的には児童子ども達との関わりも深くなり、学校評議員、学力向上委員会のメンバーとして学校の実態を身近で知ることができました。夏休み期間中のステップアップ授業(補充学習)では、応援メンバーとして5年経験し、学校の平均学力レベルが何故高いのか垣間見た気がします。下校時間の見守り活動として団地入り口交差点に立って、安全確認と子ども達との会話を続けて10年ほど経過。多くはグループで下校しますが、道中は自然観察等して、解放感を感じさせながら笑顔一杯で帰ってきます。「目の届かない道は危険だよ」と注意すると、元の道に戻ります。いじめではないかと思われる状況を見たときは、真剣な顔をして意見します。四季それぞれの野草、昆虫を手に見せてくれますが、関心を示して会話をします。賞状を手にした子どもには、一緒に喜んで誉めます。このようにして毎日子ども達から元気を貰っています。主任児童委員中心に「明野地区子育てサロン」を立ち上げ、4月に開設。11月には前主任児童委員の佐藤真由美(理事)さんによる読み聞かせ実施。ありがとう佐藤さん、今後も貴女のご活躍を祈っています。

事務局よりお知らせ

①2015年度の会費が未納の会員の方は、早急に納入願います。

2年を超して未納の場合は定款に従って会員の資格を喪失することとなります。(休会の際は、連絡をお願いします。)

会費の納入先

※郵送の場合：〒870-1192 大分市大字且野原700番地

大分大学高等教育開発センター 中川忠宣宛

※振込の場合：ゆうちょ銀行 記号17220 番号4866821
トクヒ)オオイタケンキョウイクアドバイザーネット

②2016年度定期総会開催の日程

平成28年6月11日(土)14時開始 ※詳細は追ってお知らせします。

学びで地域を元気に! . . .
2月17~18日地方創生全国
コンファレンスに参加してき
ました。学びで地域を元気に!!
これって協育ネットの会員さん
の日々の活動から地域のいろん
な問題を解決している活動です
ね!皆さんを繋ぐ広報誌、これ
からも頑張ります。いろんな情
報お待ちしています。(上原)

